

カラスに関する問題でお困りのみなさまへ

長浜市 市民生活部 環境保全課 カラス対策マニュアル要約版 襲撃対策編

カラスと聞くと良いイメージを持つ方は多くないでしょう。

長浜市でもゴミを荒らしたり、沢山集まって騒音や糞害を引き起こしたり、時には人間に襲いかかってくることも知られています。しかし、カラスも人間をいじめたくてそのような行動をしているわけではありません。

カラスが人間に嫌われる行動をする原因について知り、しっかりと対策を立てお互いが共生していける方法について考えてみましょう。

1. カラスの種類

ハシブトガラス

街路樹やビルなどの人工物が元々暮らしていた森林に似た構造をしていたため、市街地に定着しました。長浜の街中で見られるカラスの半分以上はこの種類です。ハシボソガラスよりも肉食性で、性格も強い傾向があります。



ハシボソガラス

田園地帯でよく見られます。市街地などでは、あまり見かけませんが、ハシブトガラスの群れと混ざっていることがあります。ゴミを荒らすことは少なく、普段は水田などで植物の種子や小動物などを食べて暮らしています。



2. カラスの生活

カラスは子育てをする春から夏の間（繁殖期）と、子育てをしない秋から冬の間（非繁殖期）で異なる生活をしています。

繁殖期は家族で行動し、自分たちの縄張りの中で暮らしています。一方、非繁殖期や、繁殖期であっても、子育てを行わないカラスは、昼間は自由に行動して、夜になるとねぐらに戻って集団で休みます。

カラスは非常に知能が高いことで有名で、鳥の中では身体に対して最も大きな脳を持っていることがわかっています。実際に植物の硬い実を車に轢かせたり、高い場所から落し割って食べるなど、時には我々が驚くような知恵をもつカラスもいます。

性格はとても凶暴だと思われがちですが、とても理知的で普段はおとなしく無用な争いほとんどしません。夫婦仲は極めて良く、一度夫婦になると片方が亡くなるまで生涯を共にします。



3. カラスに襲われた時の対処法

I：襲われた道路等の利用を控える

カラスに威嚇や攻撃をされるほとんどの理由は、子育てが関係しています。一度威嚇をされたら、まずは一週間その場所を極力避けて通しましょう。それでも威嚇される場合は、一ヶ月程度避けて通れば、子育てのシーズンを避けることができます。

II：カサなどで後方を守る

カラスは人間から反撃されないよう背後から奇襲をします。そのため、日傘をさすなど、後頭部に障害物を置くことで攻撃されるリスクを低減することができます。万が一襲われても、基本は単発のキックを繰り返すだけで、連続で何度も襲ってくることはありませんので、落ち着いてその場を離れましょう。



III：巣を撤去する

通学路である場合など、その場所を避けて通ることができず、また、カラスから攻撃されるリスク低減が難しい場合は、巣を撤去する必要があります。タイミングや巣の落とし方によっては、効果がないどころかカラスの防衛意識が強くなることもあります。なお、巣に卵があったりヒナがいる場合は県の許可が必要となります。



その他ご不明な点がございましたら下記までお問い合わせください

長浜市役所 市民生活部 環境保全課 TEL: 0749-65-6513

